

R 7 年度中学生の声を活かす学校再編ワークショップについて

文責：愛媛大学井上昌善

PC:inoue.masayoshi.xk@ehime-u.ac.jp

1. 趣旨・目的

- ・西予市立中学校学校再編に関する検討を進めるにあたって、中学生の意見をふまえることにより公正な意思決定につながると考えられる。
- ・学校再編はこどもに関わる施策であり、こどもの意見を表明する機会を設定しその結果をふまえて検討を進めることにより、こどもまんなか社会の実現につながる。また、地域社会の問題についてこどもが意見を表明する経験を通して、地域社会の一員であるという自覚を持ち、社会参加意識の向上が期待できる。

2. 実施方法（案）

- ・市内の中学校（5 校）の生徒会メンバーが集まり、市内の学校再編に関して意見交換する機会を設定する。

（実施時期・場所：2025 年 1 月 22 日（木）14 時～@宇和活動センター）

- ・実施形態は、ワークショップ形式にして活発に意見交換できるようにしたい。

【展開案】

- ①自己紹介（アイスブレイク（他己紹介））：グループ内で実施
- ②ワークショップ「テーマ：西予市内の中学校再編計画についてどう思う！？」
→西予市内の現状と未来（生徒数の推移など）については事前に解説してもらい、学校ごとに意見をまとめてくる。
 - *進行は、愛媛大学関係者（教員 1 名、学生 5 名）で担当する。②のワークショップでの意見交換の中で出てくる疑問（西予市の現状や未来予測など）については、可能な範囲で事務局より返答してもらう。
 - *留保条件（～の条件がそろえば再編すべき・再編すべきではない）を考えてもらうのもよいかもしれない。
 - *争点を「学校を統合すべきか？」から「自分たちも含めた中学生の学習環境のあり方をどうすべきか」というように設定し、議論を深めていきたい。
- ③まとめ

3. 今後の準備について

- ・実施方法の詳細について